

現場施工写真撮影基準

(下水道機械・電気設備用)

令和6年4月

下水道河川局技術監理課

目 次

1	目的	1
2	適用	1
3	箇所別写真撮影基準	
3-1	共通事項(表-1)	2
3-2	機械設備	
	機器据付工事(表-2)	3
	配管工事(表-3)	5
	ダクト工事(表-4)	7
	保温工事(表-5)	8
	塗装工事(表-6)	9
3-3	電気設備	
	盤基礎工・盤据付工(表-7)	10
	配線工事(表-8)	11
	電線管敷設電線路工事(表-9)	12
	ケーブル敷設電線路工事(表-10)	13
	ケーブルダクト敷設電線路工事(表-11)	14
	地中電線路敷設電線路工事(表-12)	15
	埋設配管・架空電線路、特殊場所電線路工事(表-13)	16
	光ファイバーケーブル敷設工事(表-14)	17
	自由溶床工、防塵塗装工(表-15)	17
	延焼防止工(表-16)	17
	接地工(表-17)	18
	計装設備工事(表-18)	18
	制御設備工事(表-19)	18
	中央監視制御設備工事(表-20)	19
	試運転工(表-21)	19
	照明設備工事(表-22)	20
	空調設備工事(表-23)	20
	間仕切工(表-24)	20
	貫通はつり工(表-25)	20
4	写真の整理	
4-1	工事写真表紙 [工事名、工事場所、工期、発注者、施工者]	21
4-2	目次 [施工前・完成後、各工種及び工程毎]	21
4-3	各工種別	22
4-4	試験(コンクリート試験)	23
4-5	安全会議・安全訓練	23

5	出来形部分検査対象品目の写真撮影	
5-1	機械・電気設備用機器・材料等の写真撮影（表-26）	24
5-2	機械・電気設備用の現場施工写真撮影（表-27）	25
6	製品検査写真撮影	
6-1	機械・電気設備用機器・材料等の写真撮影（表-28）	26
7	出来形部分検査及び製品検査の写真整理	
7-1	工事写真表紙	27
7-2	目次	27
7-3	出来形対象（工場製作）品目ごとに整理	28
7-4	出来形対象（現場施工）品目ごとに整理	29
7-5	出来形対象（製品検査）品目ごとに整理	30

1 目的

横浜市下水道河川局下水道施設部において発注する下水道機械・電気設備工事の現場施工写真撮影について、この現場施工写真撮影基準で、撮影を定め統一することにより、現場における着手から施工完了までの様々な工程の施工確認等を適正・円滑に進めることを目的とする。

2 適用

この写真撮影基準は、原則として下水道機械・電気設備工事で施工する現場に適用するものとし、現場施工時の確認等において使用する。

主な工事等は、次の工事とする。

(1) 機械設備

- ア 機器据付工事（主ポンプ設備等）
- イ 配管工事
- ウ ダクト工事
- エ 保温工事
- オ 塗装工事

(2) 電気設備

- ア 盤基礎工・盤据付工
- イ 配線工事
- ウ 電線管敷設電線路工事
- エ ケーブルラック敷設電線路工事
- オ ケーブルダクト敷設電線路工事
- カ 地中電線路敷設電線路工事
- キ 埋設配管、架空電線路、特殊場所電線路工事
- ク 光ファイバーケーブル敷設工事
- ケ 自由揚床工、防塵塗装工
- コ 延焼防止工
- サ 接地工
- シ 計装設備工事
- ス 制御設備工事
- セ 中央監視制御設備工事
- ソ 試運転工
- タ 照明設備工事
- チ 空調設備工事
- ツ 間仕切工
- テ 貫通はつり工

3 箇所別写真撮影基準

3-1 共通事項

表-1 写真撮影箇所一覧表（共通事項）

工種		撮影箇所及び内容	撮影頻度	摘要
一般事項	施工前及び施工後の全景	<ul style="list-style-type: none"> 現場着工前の現場調査状況。 施工前と施工後の写真は同一位置、方向から対比できるように撮影する。 起終点の明確のものについては必ずポール等を立て位置を表示する。 施工場所が広大で1枚に収まらない場合は、継写して1枚に整理する。 	施工前後と途中必要に応じて撮影する。	看板に施工内容を明示する。写真説明には、数量等を明示する。
	各種試験及び調査	<ul style="list-style-type: none"> 試験実施状況 	そのつど	
	機械・電気設備機器、構造物	<ul style="list-style-type: none"> 出来形の形状寸法 	形状寸法の異なるものはそのつど、単一機器・構造物は箇所ごと	
	主要な資材及び材料	<ul style="list-style-type: none"> 使用する主要な資材及び材料の搬入状況及び搬入検査状況を撮影する。 	適時	
	発生材	<ul style="list-style-type: none"> 発生状況及び処理状況、寸法、位置等 	そのつど	
	災害及び事故	<ul style="list-style-type: none"> 工事中の災害・事故が発生した場合の現状及び復旧状況 	そのつど	
	仮設足場	<ul style="list-style-type: none"> 手すり先行工法 	そのつど	
	グリーン購入関係	<ul style="list-style-type: none"> 横浜市グリーン購入の推進に関する特記仕様書で指定されている内容の確認を行う。（例：機器搬入等で使用するクレーン等の機械が排ガス対策型建設機械） 	適時	
その他工種	特殊工法	<ul style="list-style-type: none"> 施工状況及び設備状況 	箇所当り	監督員と協議する。
	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> 各種標識類、保安施設の位置状況 保安要員の配置状況を設置場所周辺の状況がわかるように撮影する。 	設置後、種類ごと、作業中、箇所が変わるごと	
	その他	<ul style="list-style-type: none"> 水中又は地下に埋没する箇所等、主要構造物で完成後では確認しがたい箇所 	そのつど	
	舗装工等	<ul style="list-style-type: none"> 道路局等関係機関の工事施工要領に従う。 	適時	

<注意事項>

1 現場施工に係わる出来形写真

- (1) 出来形品目の全景写真
- (2) 出来形品目の外観検査、員数検査状況写真
- (3) 出来形対象品以外のものは撮影範囲に入れない。（対象外のものにシートを掛け区別させる。）
- (4) 一枚の写真では不明確になるおそれがある場合は、「部分写真」＋「全体写真」で表現する。
- (5) 機器銘板を写真撮影すること。（機器が出来形対象の場合のみ）
- (6) 撮影看板には、写真撮影の内容を表示する。

ア 工事名

イ 検査内容又は工程

ウ 出来形対象品目の名称

エ 数量

オ 検査員又は監督員

表-2 写真撮影箇所一覧表（機械設備：機器据付工事：主要機器はすべて）

工種		撮影箇所及び内容	撮影頻度	摘要
1	墨出し工	<ul style="list-style-type: none"> 全体基準点・線（ベンチマーク）によりレベルを確認する。看板等にレベルを明示して撮影する。 墨出し作業中の撮影をする。 墨出し完成後の状況。 	施工前後と施工中を必ず撮影する。	レベルを明示する。
2	基礎はつり工	<ul style="list-style-type: none"> 施工作业中の撮影をする。 はつり深さやピッチ間隔が確認出来るように巻尺等を使用し撮影する。 防塵養生の撮影を行う。 	適時	はつりの内容を明示する。
3	床鉄筋出しのはつり工	<ul style="list-style-type: none"> 施工作业中の撮影をする。 はつり深さやピッチ間隔が確認出来るように巻尺等を使用し撮影する。 防塵養生の撮影を行う。 はつり出した鉄筋の状況。 コンクリート状況。 	適時	はつりの内容を明示する。 寸法等を確認する場合は、大きく撮影する。
4	基礎配筋工	<p><基礎ボルト></p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎ボルト本数、寸法等が確認出来るように撮影する。 基礎配筋の鉄筋は、床鉄筋の最上部に潜り溶接又は結束が確認出来るように撮影。 溶接しろが確認できるようスケール等を当て撮影。 各工程ごとの施工状況。 鉄筋組立の全景と間隔（幅及び高さ）を撮影する。 <p><あと施工アンカー></p> <ul style="list-style-type: none"> カプセル・接着剤等の本数及び寸法等が確認出来るように撮影する。 アンカー用の穴あけ作業。 孔内の清掃状況。 孔深さの確認スケール等を当て撮影。 カプセル・接着剤等の挿入状況。 アンカー打ち込み状況。 アンカー打ち込み完成後の全景を撮影 鉄筋組立の全景と間隔（幅及び高さ）を撮影する。 引き抜きテスト状況。 	施工前後と施工中を必ず撮影する。	基礎ボルトの数量等内容を明示する。 鉄筋の間隔についてはリボンテープ、巻尺等を使用 完成後確認出来ない箇所のため、万全な撮影を行う。
5	型枠工	<ul style="list-style-type: none"> 型枠材を撮影。 型枠施工作业中の状況。 型枠の補強材及び固定材の状況。 型枠完成後の状況を、テープ、箱尺等で寸法（断面寸法カブリ等）を明示して撮影し、さらに全景も撮影。 箱抜きがある場合は、寸法等が確認できるようにスケール等を当て撮影。 	施工前後と施工中を必ず撮影する。	型枠寸法を明示する。

工種		撮影箇所及び内容	撮影頻度	摘要
6	コンクリート打設工	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンクリートのテストピース採取及び試験状況。 ・ 現場打込状況（締固状況）。 	施工前後と施工中を必ず撮影する。	コンクリート打設数量等を明示する。
7	養生	<ul style="list-style-type: none"> ・ 養生状況。 ・ 表面乾燥やひび割れが起きないようにシート等で保護状況。 	適時	養生内容を明示する。
8	型枠外し工	<ul style="list-style-type: none"> ・ 型枠外し状況。 ・ コンクリートの外面検査状況。 ・ 基礎の寸法測定状況。 	適時	基礎の寸法を明示する。
9	基礎表面仕上工	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎表面仕上状況。 ・ 欠陥がある場合は、程度調査状況。 ・ 補修がある場合は、補修状況。 	適時	基礎表面の状況を明示する。
10	機器搬入工	<ul style="list-style-type: none"> ・ 機器搬入検査状況。 ・ 機器搬入作業状況。 ・ 搬入路等の養生状況。 ・ クレーン等を使用する場合は、クレーン運転、玉掛け状況。 	適時	施工内容を明示する。 （表-1 グリーン購入関係確認）
11	機器設置工	<ul style="list-style-type: none"> ・ 機器設置前の状況。 ・ 機器の設置作業の状況。 ・ 機器が複数台ある場合は、各機器ごとに撮影する。 ・ 接合部や基礎ボルトナットの適正な締め付け後のネジ山等の状況。 	適時	施工内容を明示する。
12	機器芯出工	<ul style="list-style-type: none"> ・ 器具・工具・測定器（検査基準による）の確認状況。 ・ 芯出し作業状況及び測定値の確認。 	適時	基準値を明示する。
13	機器据付工	<ul style="list-style-type: none"> ・ 機器外観検査の状況。 ・ 機器全景 	適時	施工内容を明示する。
14	試運転調整工	<ul style="list-style-type: none"> ・ 試運転状況 	適時	施工内容を明示する。
15	施工完了	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施工完了後の状況 ・ 養生等を行う場合は、養生作業状況及び養生完成後の状況 	完了後	内容を明示する。

表-3 写真撮影箇所一覧表（配管工事）

工種		撮影箇所及び内容	撮影頻度	摘要
1	墨出し工	<ul style="list-style-type: none"> 全体基準点・線（ベンチマーク）によりレベルを確認する。看板等にレベルを明示して撮影する。 墨出し作業中の撮影をする。 機器接続フランジ等の箇所、壁、床、天井等の貫通箇所、既設配管との接続箇所、ケーブルラック等を考慮し墨出し、取り合い箇所の状況を撮影する。 墨出し完了後の状況。 	施工前後と施工中を必ず撮影する。	レベルを明示する。
2	配管架台基礎工	<p><配管架台基礎></p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎アンカーの数量、寸法が確認出来るように撮影する。 架台基礎高さ及び寸法の確認状況。 防塵養生の撮影を行う。 あと施工アンカーについては、表-2の4「あと施工アンカー」を参照 基礎アンカーボルト、ナットの締め付け状況。 <p><配管受基礎></p> <ul style="list-style-type: none"> 配管架台は、鋼板性を標準とするが、大口径の配管弁類を直接受ける基礎は、鉄筋コンクリートとする。詳細については、表-2の2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9を参照 	適時	基礎アンカー数量等を明示する。寸法等を確認する場合は、大きく撮影する。
3	配管架台設置工	<ul style="list-style-type: none"> 配管架台の芯出し状況（前後の架台とのレベル確認、配管が浮かない等） 配管架台設置作業状況。 	適時	レベルを明示する。寸法等を確認する場合は、大きく撮影する。
4	貫通はつり工	<ul style="list-style-type: none"> 貫通場所の位置及び貫通口径が確認できるようにレベルや口径を明示し撮影 貫通による壁、梁、床に支障があるか確認し、支障がある場合には、補助筋等の施工を行い状況を撮影。 鉄筋溶接等を実施した場合は、詳細に撮影。 	適時	貫通寸法を明示する。寸法等を確認する場合は、大きく撮影する。
5	配管搬入工	<ul style="list-style-type: none"> 配管搬入数量の確認状況。 配管の養生の状況（転倒、転がり防止）。 配管吊り込み状況。 弁・伸縮管類の数量の確認状況。 搬入口の状況。 クレーン等を使用する場合は、表-2の10を参照。 	適時	搬入数量を明示する。寸法等を確認する場合は、大きく撮影する。
6	配管設置工	<ul style="list-style-type: none"> 施工前の状況。 配管ルート確保状況。 配管設置作業状況。 配管サポート設置状況。 配管設置後の状況。 	適時	施工内容を明示する。寸法等を確認する場合は、大きく撮影する。

工種		撮影箇所及び内容	撮影頻度	摘要
7	配管芯出工	<ul style="list-style-type: none"> 配管芯出状況（配管勾配、伸縮管、たわみ継手の芯出しが適正）。 レベルを明示し、撮影 水平度の確認状況。 	適時	基準値を明示する。 寸法等を確認する場合は、大きく撮影する。
8	配管接合工	<ul style="list-style-type: none"> 配管接合材数量の確認状況。 配管接合の順序に従い、パッキンの取り付け、締め付け等が適正に行われているか確認作業状況。 接合前に配管内に異物等が無いことの確認状況。 配管接合後の状況。 	適時	数量を明示する。 寸法等を確認する場合は、大きく撮影する。
9	配管内洗浄	<ul style="list-style-type: none"> 布設時に混入した異物の除去清掃の状況。 フラッシング流体の確認作業状況。 配管内洗浄後の確認状況。 	適時	施工内容を明示する。 寸法等を確認する場合は、大きく撮影する。
10	配管漏洩・耐圧試験	<ul style="list-style-type: none"> 漏洩・耐圧試験機材の確認状況。 耐圧試験状況（圧力と保持時間） 各接合部の漏洩試験（所定圧力に上昇させ漏洩フランジ部、溶接部の確認）。 	そのつど	基準圧力を明示する。 寸法等を確認する場合は、大きく撮影する。
11	止水工	<ul style="list-style-type: none"> 水槽等の重要な漏水防止箇所については、止水板等の工法で施工する作業状況及び漏水試験状況。 	そのつど	施工内容を明示する。 寸法等を確認する場合は、大きく撮影する。
	貫通穴埋工	<ul style="list-style-type: none"> コンクリート構造物の配管貫通部は、配管施工後、無収縮モルタル等を充填する作業状況 	適時	
12	配管埋設工	<ul style="list-style-type: none"> 施工前の状況。 掘削状況及び支持材等の設置状況。 掘削深さ及び幅を明示し撮影。 耐震対策箇所の場合は、可とう伸縮管の設置状況。 埋設配管には、塗装後、ポリエチレンスリーブ内に納め設置した状況。 配管完了後の撮影。 埋め戻し状況。 地中埋設配管は、埋設標識シート等を埋設するための確認状況。 施工後の状況。 	適時	掘削深さ及び幅を明示する。 寸法等を確認する場合は、大きく撮影する。
13	配管施工完成	<ul style="list-style-type: none"> 施工完成の状況。 	完成後	内容を明示する。

表-4 写真撮影箇所一覧表 (ダクト工事)

工種		撮影箇所及び内容	撮影頻度	摘要
1	墨出し工	<ul style="list-style-type: none"> 全体基準点・線（ベンチマーク）によりレベルを確認する。看板等にレベルを明示して撮影する。 墨出し作業中の撮影をする。 機器接続フランジ等の箇所、壁、床、天井等の貫通箇所、既設配管との接続箇所、ケーブルラック等を考慮し墨出し、取り合い箇所の状況を撮影する。 墨出し完了後の状況。 	施工前後と施工中を必ず撮影する。	レベルを明示する。
2	ダクト基礎工	<p><ダクト架台基礎></p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎アンカーの数量、寸法が確認出来るように撮影する。 架台基礎高さ及び寸法の確認状況。 防塵養生の撮影を行う。 あと施工アンカーについては、表-2の4「あと施工アンカー」を参照 基礎アンカーボルト、ナットの締め付け状況。 	適時	アンカー数量を明示する。 寸法等を確認する場合は、大きく撮影する。
3	ダクト搬入工	<ul style="list-style-type: none"> ダクト搬入数量の確認状況。 ダクト搬入作業状況。 ダクトの養生状況（転倒防止等） 	適時	ダクト数量を明示する。
4	ダクト設置工	<ul style="list-style-type: none"> ダクトの施工前状況。 ダクトの設置作業状況。 ダクトの接合状況（ガスケット、ボルトの取付・締め状況）。 ダクトの施工中における仮止め状況。 	適時	ダクト寸法・据付長さ等を明示する。
5	ダクトサポート・ダクト架台工	<ul style="list-style-type: none"> ダクトサポート・架台の状況。 ダクトの吊り及び支持状況。 吊りボルトの据付状況。 	適時	
6	ダクトの勾配	<ul style="list-style-type: none"> ダクトの勾配及びトラップの状況。 ドレンバルブの設置状況。 伸縮ダクト及び可とう管の設置状況。 ダクトのレベルの確認状況。 	適時	勾配の基準値及びレベルを明示する。
7	風量測定	<ul style="list-style-type: none"> 風量測定口の設置状況（箇所数、口径）。 測定機材の状況（風速計、マノメータ等）。 風量測定作業状況。 	適時	風量及び風速等を明示する。
8	ダクト据付完了	<ul style="list-style-type: none"> ダクト据付完了状況。 	完成後	

表-5 写真撮影箇所一覧表（保温工事）

工種		撮影箇所及び内容	撮影頻度	摘要
1	下地処理	<ul style="list-style-type: none"> 保温施工前の配管状況。 配管の塗装完了の確認状況（耐熱配管の場合は、耐熱塗装完了）。 垂鉛めっきの場合は、めっき完了の確認状況。 配管端シール面の防錆処理及び保温面の清掃確認状況。 	適時	施工内容を明示する。
2	下巻き	<ul style="list-style-type: none"> 保温材の数量等の確認状況。 保温材の施工状況。 保温材の継ぎ目状況。 保温材の各工程ごとの作業状況。 鉄線等の締め付け状況。 保温下巻き後の状況。 	適時	保温材数量及び厚さを明示する。
3	上巻き	<ul style="list-style-type: none"> 保温材の数量等の確認状況。 保温材の施工状況。 保温材の継ぎ目状況。 保温材の各工程ごとの作業状況。 鉄線等の締め付け状況。 保温上巻き後の状況。 	適時	保温材数量及び厚さを明示する。
4	仕上げ	<p><屋内配管：ビニールテープ類施工></p> <ul style="list-style-type: none"> 仕上げ材料の数量確認状況。 テープの重なり状況及びフィルムの重なり状況。 テープ類の弛み状況。 仕上げ作業状況。 仕上げ完了後の状況。 <p><屋外配管・ダクト・タンク：ステンレス鋼板類施工></p> <ul style="list-style-type: none"> 仕上げ材料の数量確認状況。 ラッキングの状況。 仕上げ作業状況。 仕上げ完了後の状況。 <p><弁類></p> <ul style="list-style-type: none"> 仕上げ材料の数量確認状況。 屋内・屋外弁類は、上記屋内・屋外配管等に準じる。 脱着可能な場合は、脱着できる確認状況。 シール材の充填状況。 仕上げ完了後の状況。 	適時	重なり幅等を明示する。
5	文字書き	<ul style="list-style-type: none"> 文字書きの状況（見やすい箇所）。 カッティングシートの貼付け状況（屋内のみ可）。 文字書きの作業状況。 	適時	内容を明示する。
6	保温完成	<ul style="list-style-type: none"> 保温完成後の状況（文字書き含む）。 	完成後	

表－6 写真撮影箇所一覧表（塗装工事）

工種		撮影箇所及び内容	撮影頻度	摘要
1	素地調整	<ul style="list-style-type: none"> ・ 素地調整の種別確認状況。 ・ 配管等の塗装前の確認状況。 ・ 塗装面の清掃状況（錆、ゴミ、油類等）。 ・ 素地調整の作業状況（ショットブラスト、サンドブラスト、ディスクサンダ、サンドペーパー、ワイヤブラシ）。 ・ 素地調整後の状況。 	適時	内容を明示する。
2	下塗り	<ul style="list-style-type: none"> ・ 塗料材料の確認及び空缶の確認状況。 ・ 気温、湿度の確認状況。 ・ 塗装作業状況。 ・ 塗膜厚検査の確認状況（膜厚測定器）。 ・ 塗装下塗り検査の状況（剥離、ムラ、タレ、ピンホール、異物の混入、塗り残し等）。 ・ 下塗り完成後の状況。 	適時	塗料の種類・回数、数量及び気温、湿度、膜厚等を明示する。
3	中塗り	<ul style="list-style-type: none"> ・ 塗料材料の確認及び空缶の確認状況。 ・ 気温、湿度の確認状況。 ・ 塗装作業状況。 ・ 塗膜厚検査の確認状況（膜厚測定器）。 ・ 塗装中塗り検査の状況（剥離、ムラ、タレ、ピンホール、異物の混入、塗り残し等）。 ・ 中塗り完成後の状況。 	適時	塗料の種類・回数、数量及び気温、湿度、膜厚等を明示する。
4	上塗り	<ul style="list-style-type: none"> ・ 塗料材料の確認及び空缶の確認状況。 ・ 気温、湿度の確認状況。 ・ 塗装作業状況。 ・ 塗膜厚検査の確認状況（膜厚測定器）。 ・ 塗装上塗り検査の状況（剥離、ムラ、タレ、ピンホール、異物の混入、塗り残し等）。 ・ 上塗り完成後の状況。 	適時	塗料の種類・回数、数量及び気温、湿度、膜厚等を明示する。
5	文字書き、配管バンドマーク・流れ方向矢印	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文字書き、バンドマーク等の状況（見やすい箇所）。 ・ 文字書きの作業状況。 ・ 文字書き等の完成後の状況。 	適時	内容を明示する。
6	塗装完了	<ul style="list-style-type: none"> ・ 塗装完成検査の状況 	完成後	内容を明示する。

工種		撮影箇所及び内容	撮影頻度	摘要
1	墨出し工	<ul style="list-style-type: none"> 全体基準点・線（ベンチマーク）によりレベルを確認する。看板等にレベルを明示して撮影する。 墨出し作業中の撮影をする。 機械設備機器等、壁、床、天井等の貫通箇所、既設ダクト、既設盤、ケーブルラック等を考慮し墨出し、取り合い箇所の状況を撮影する。 墨出し完了後の状況。 	適時	レベルを明示する。
2	盤基礎工	<p><コンクリート面基礎：自立・スタンド・壁掛盤></p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎アンカーの数量、寸法が確認出来るように撮影する。 架台基礎高さ及び寸法の確認状況。 防塵養生の撮影を行う。 ケミカルアンカーについては、表-2の4「ケミカルアンカーボルトを参照 基礎アンカーボルト、ナットの締め付け状況。 鉄筋溶接の場合は、溶接箇所の確認状況。 <p><土面基礎：自立・スタンド盤></p> <ul style="list-style-type: none"> 自立・スタンド盤基礎は、鉄筋コンクリートとする。 基礎掘削状況（掘削深さ・幅を確認） 栗石（採石）の敷設状況。 転圧状況及び捨てコン打設状況。 配筋状況（フープ幅、結束状況） 基礎アンカーの数量、寸法が確認出来るように撮影する。 型枠の施工状況（基礎寸法）。 コンクリート打設状況（テストピース採取及び試験状況） 養生状況 型枠取外し状況（コンクリート外面検査状況） 基礎表面仕上状況。 基礎完成後の状況。 	適時	<p>基礎アンカー数量等を明示する。</p> <p>寸法等を確認する場合は、大きく撮影する。</p> <p>必要に応じてテストピース採取及び試験を行う。</p>
3	盤搬入	<ul style="list-style-type: none"> 盤搬入数量の確認状況。 盤の養生状況。 	適時	盤の数量を明示する。
4	盤据付工	<ul style="list-style-type: none"> 盤据付前の状況。 盤の据付作業状況。 盤のボルトの施工状況及び締め付け状況。 盤が複数ある場合は、盤面が揃う状況 盤据付後の状況。 	適時	作業内容を明示する。
5	盤据付完了	<ul style="list-style-type: none"> 盤据付完了後の状況。 	完了後	

表－8 写真撮影箇所一覧表（電気設備：配線工事）

工種		撮影箇所及び内容	撮影頻度	摘要
1	ケーブル敷設	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケーブル数量等の確認状況。 ・ 電力ケーブルと制御ケーブル等が混合していない事の確認状況。 ・ ケーブルの接続状況（中間接続・中間分岐等） ・ ケーブルの敷設作業状況。 ・ ケーブル種別・サイズ別・番線・行き先名称を明記した名札の取付状況。 ・ 配線ルートに伴い箱抜きを行う場合は、箱抜きレベルを明示し、撮影する。（被水防止高以上のレベルであること。） ・ 盤立上げ状況（ケーブルを極端な曲） ・ ケーブル引込後開口部をパテ等でふさぐ状況。 ・ 人が触れる危険が有る場合の高圧ケーブルの保護カバー等の状況。 ・ ケーブル敷設後の状況。 	施工前後と施工中を必ず撮影する。	ケーブル数量を明示する。
2	端末処理	<p><高圧動力・低圧動力></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 端末処理材の数量確認状況。 ・ 端末処理作業の状況。 ・ ボルトの締付状況（トルクレンチの設定値） ・ 締付チェックマークの確認状況。 ・ 相色別テープの確認状況。 ・ 端末処理後の状況 	施工前後と施工中を必ず撮影する。	端末処理材数量を明示する。 トルクレンチの設定値を明示する。
3	配線完了	<ul style="list-style-type: none"> ・ 配線完了後の状況。 	完成後	

表-9 写真撮影箇所一覧表（電気設備：（電線管敷設）電線路工事）

工種	撮影箇所及び内容	撮影頻度	摘要
1 電線管敷設	<p><共通></p> <ul style="list-style-type: none"> 電線管数量等の確認状況。 電線管の敷設作業状況。 電線管内の清掃状況。 <p><金属電線管></p> <ul style="list-style-type: none"> 電線管接続状況（カップリング、ロックナット、ブッシング等） 接地を施す電線管のボンディング状況。 <p><いんぺい電線管></p> <ul style="list-style-type: none"> コンクリート埋込電線管の結束状況（鉄線で鉄筋に結束）。 水気の多いコンクリート床面からの立上り電線管の根元回りのモルタル施工状況。 <p><露出電線管></p> <ul style="list-style-type: none"> 露出配管の敷設状況（天井又は壁面、パイプシャフトに沿って敷設）。 電線管の支持金物の支持状況（構造物に強固に固定）。 電線管の塗装状況。 	施工前後と施工中を必ず撮影する。	電線管、支持材等の数量を明示する。 いんぺい箇所は、詳細に撮影（電線管の結束状況等）
2 金属管とボックス等の接続	<ul style="list-style-type: none"> 管の長さが30mを超える場合の、プルボックス使用状況。 	適時	
3 電線管等の支持	<ul style="list-style-type: none"> 電線管支持点間距離の状況（金属：2.0m以下、合成樹脂：1.5m以下）。 プルボックス類の支持状況（1.0m以内） 電線管支持材料の状況（サドル、ダクタークリップ等） 	適時	巻尺等により支持点間距離を測定する。
4 電線管の養生及び清掃	<ul style="list-style-type: none"> コンクリート打の養生状況（塵あい防止用パイプキャップ等及び型枠撤去後の清掃） 電線管の端口養生状況（ブッシング、コネクターを使用）。 	適時	
5 金属管の屈曲	<ul style="list-style-type: none"> 屈曲状況（著しく変形しない、管内径の6倍以上の曲げ内径）。 曲がり状況（3直角、4曲り270°以内）。 	適時	
6 ケーブルラックとの接続	<ul style="list-style-type: none"> ケーブルラックとの接続状況（直接電線管と接続しない、電線管端末と高さが同じ）。 	適時	
7 高温部の配管	<ul style="list-style-type: none"> 高温部の配管状況（発熱体から200mm以上離す、保温材、遮蔽板等）。 	適時	発熱体からの距離を測定
8 電線管敷設完成	<ul style="list-style-type: none"> 配線完了後の状況。 	完成後	

表-10 写真撮影箇所一覧表（電気設備：（ケーブルラック敷設）電線路工事）

工種	撮影箇所及び内容	撮影頻度	摘要
1	<p>ケーブルラック敷設(アルミ製)</p> <ul style="list-style-type: none"> • ケーブルラック、サポート等数量の確認状況。 • ケーブルラックの敷設作業状況。 • ケーブルラックカバーの状況（落下物等によりケーブルを損傷する可能性がある場合）。 • サポート状況（サポート間隔水平部：1.5m(垂直部 3.0m)を標準。 • 柱スパンの状況。 • 防火区画貫通部敷設状況（ラックの敷設をしてはならない）。 • 高圧、低圧、制御ケーブル等を同一ラック上に布設した場合の敷設状況（耐火性隔壁を設置）。 • 建屋のエクスパンション部等の敷設状況（縁切り施工）。 • ラックの固定状況（固定ボルト方式） • ラックエンドの処理状況（エンドカバー、キャップの取付）。 • ラック上のケーブルの処理状況(適所にとじひも等により結束) • ラックを段積みした場合の段積状況（上下間隔[25cm]の確認）。 • ラックの幅・高さの確認状況（幅・高さを巻尺等で測定） • ラックの表示状況（30m 毎、室毎に表示：高圧、低圧、制御、計装） • ラックの基礎等のアンカーボルト施工状況（金属拡張アンカー：穴開け、穴清掃、穿孔確認、アンカー打込、引抜確認）。 	<p>施工前後と施工中を必ず撮影する。</p>	<p>ケーブルラック、サポート等の数量を明示する。</p> <p>貫通部を詳細に撮影</p> <p>上下間隔を明示する。 ラック幅・高さを明示する。 表示内容明示。</p> <p>アンカーボルトの施工状況を工程毎に撮影する。</p>
2	<p>ラック敷設完成</p> <ul style="list-style-type: none"> • ラック敷設完成後の状況。 	<p>完成後</p>	

表-11 写真撮影箇所一覧表（電気設備：（ケーブルダクト敷設）電線路工事）

工種	撮影箇所及び内容	撮影頻度	摘要
1	<p>ケーブルダクト敷設(アルミ製)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ケーブルダクト、サポート等数量の確認状況。 ・ ケーブルダクトの敷設作業状況。 ・ ダクトサポートの支持間隔状況（間隔水平部・垂直部 2.4m,2.0m,1.8m）を標準。 ・ 柱スパンの状況。 ・ 壁や床等の貫通部敷設状況。 ・ 高圧、低圧、制御ケーブル等を同一ダクト内に収納した場合のセパレータの取付状況。 ・ 屋外にダクトを敷設した場合の防雨カバー状況。 ・ ダクトの接続状況（ボルト等により接続） ・ ダクト内のケーブルの処理状況(適所にケーブル結束用サポートを設ける) ・ ダクトの接地状況（C・D種接地）。 ・ ダクトの幅・高さの確認状況（幅・高さを巻尺等で測定） ・ ダクトの内外表示状況（30m 毎、室毎に表示：高圧、低圧、制御、計装）。 ・ サポート基礎等のアンカーボルト施工状況（金属拡張アンカー：穴開け、穴清掃、穿孔確認、アンカー打込、引抜確認）。 	<p>施工前後と施工中を必ず撮影する。</p>	<p>ケーブルダクト、サポート等の数量を明示する。</p> <p>貫通部を詳細に撮影（差し込み量を明示する。）</p> <p>ダクト幅・高さを明示する。 表示内容を明示する。 アンカーボルトの施工状況を工程毎に撮影する。</p>
2	<p>ダクト敷設完成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ダクト敷設完成後の状況。 	<p>完成後</p>	

表-12 写真撮影箇所一覧表（電気設備：（地中電線路敷設）電線路工事）

工種		撮影箇所及び内容	撮影頻度	摘要
1	埋設位置の選定	<ul style="list-style-type: none"> 埋設位置の選定状況（暗きょ式、管路式、直接埋設式） 	施工前後と施工中を必ず撮影する。	〇〇式を明示する。
2	掘削工	<ul style="list-style-type: none"> 掘削前の状況。 掘削の施工状況（幅、深さ、長さ）。 地下埋設物が有る場合は、埋設物の状況。 掘削深さ 1.5m 以上の場合の崩壊防止策状況。 	施工前 掘削中、掘削後	幅、深さ、長さ等を明示する。 崩壊防止策を撮る。
3	残土処分	<ul style="list-style-type: none"> 建設発生土仮置及び運搬作業状況。 アスファルトコンクリート等の仮置及び運搬作業状況。 	適時	建設発生土等処理状況も含む、尚運搬ルート運搬先写真を撮る。
4	埋戻工	<ul style="list-style-type: none"> 掘削土の投入作業状況。 締め固め作業状況。 	投入中、締め固め 中、施工後	
5	アスファルト舗装面の仮復旧、本復旧	<p><仮復旧></p> <ul style="list-style-type: none"> 仮復旧前、施工中、施工後の状況（配管施工、掘削土埋戻、砕石、転圧、仮表層アスファルトコンクリート）。 <p><本復旧></p> <ul style="list-style-type: none"> 仮復旧前、施工中、施工後の状況（砂、配管、砂、掘削土埋戻、クワツヤラン C40、転圧、砕石、転圧、表層アスファルトコンクリート）。 完成後の状況。 	施工前、施工中、施工後	
6	マンホール、ハンドホール	<ul style="list-style-type: none"> マンホール・ハンドホールの数量等の確認状況。 マンホール、ハンドホールの据付状況。 マンホール、ハンドホール内の状況（たまり水を排除できる構造）。 1.4mを超えるマンホールの場合は、昇降用タラップ、梯子等の設置状況。 ハンドホールの現場施工の場合は、施工状況（基礎（砕石）、捨てコン、鉄筋工、型枠工、コンクリート施工、養生、仕上げ等）。 	適時 現場施工時の各工程毎に施工前、施工中、施工後	マンホール、ハンドホール内を詳細に撮る。
7	埋設位置の表示	<ul style="list-style-type: none"> ケーブル埋設標識シートの数量等の確認状況。 ケーブル埋設標識シートの敷設及び埋設標柱の設置状況。 	適時	数量等を明示
8	トラフ及び管等の敷設	<ul style="list-style-type: none"> トラフ及び管の数量等の確認状況。 トラフ・管の敷設作業状況。 ケーブル布設後の砂の充填作業状況。 車輛等の重量物が通行する場合は、土被り 1.2m以上、他は 0.6m 以上。 	適時	数量等を明示 土被り深さを明示
9	構造物との接続	<ul style="list-style-type: none"> ケーブル、管等を地下構造物に接続する場合のハンドホール、マンホールの状況。 ケーブルを地下構造物に引き込む場合の防水処理状況。 	施工前、施工中、施工後	接続状況及び防水処理状況を詳細に撮る。
10	地中電線路完成	<ul style="list-style-type: none"> 地中電線路完成状況。 	完成後	

表-13 写真撮影箇所一覧表（電気設備：（埋設配管、架空電線路、特殊場所）電線路工事）

工種		撮影箇所及び内容	撮影頻度	摘要
1	金属管理設	<ul style="list-style-type: none"> 金属管の数量等の確認状況。 金属管を地中埋設管に使用した場合の防食処理又はライニング処理状況。 コンクリートスラブ中に配管を敷設した場合の施工状況。 2本以上配管施工する場合の管相互間の状況（30mm以上離す）。 他の配管と接近又は交差する場合の施工状況（100mm以上離す）。 埋設管の立上り部の根巻処理状況。	施工前後と施工中を必ず撮影する。	数量を明示
2	硬質可とう電線管理設	<ul style="list-style-type: none"> 硬質可とう電線管の数量等確認状況。 地中埋設の施工状況（埋設深さ0.6m以上）。 電線管の端末処理状況（管口処理剤） 2本以上配管施工する場合の管相互間の状況（30mm以上離す）。 他の配管と接近又は交差する場合の施工状況（100mm以上離す）。	施工前後と施工中を必ず撮影する。	数量を明示
3	架空電線路	<建柱位置の選定> <ul style="list-style-type: none"> 施工前の状況。 建柱設置場所の状況。 <建柱方法> <ul style="list-style-type: none"> 根入れの状況（建柱15m以下：全長の1/6以上、15m以上では2.5m以上） 根かせの施工状況。 <腕金の取付け> <ul style="list-style-type: none"> 腕金取付け穴加工の状況（防食処理前） <メッセンジャーワイヤー> <ul style="list-style-type: none"> 架空ケーブルのメッセンジャーワイヤーの施工状況。（ケーブルハンガーの間隔、取付け） ケーブルの引込み及び引出しの施工状況。（雨水が浸入しないよう傾斜させる） 	施工前後と施工中を必ず撮影する。	根入れ深さを明示
4	特殊場所工事	<粉じん危険場所> <ul style="list-style-type: none"> 厚生労働省産業安全研究所工事電気設備防爆指針（粉じん防爆）による施工状況 <ガス蒸気危険場所> <ul style="list-style-type: none"> 厚生労働省産業安全研究所工事電気設備防爆指針（ガス蒸気防爆）による施工状況 <危険物等貯蔵場所> <ul style="list-style-type: none"> 「危険物の規制に関する政令」及び「同規則」による施工状況。 <腐食性ガスのある場所> <ul style="list-style-type: none"> 厚生労働省産業安全研究所工事電気設備防爆指針（粉じん防爆、ガス蒸気防爆）による施工状況。 	施工前後と施工中を必ず撮影する。	施工内容を明示し、安全対策状況を詳細に撮る。
5	電線路完成	<ul style="list-style-type: none"> 電線路完成状況 	各工種完成後	

表-14 写真撮影箇所一覧表（電気設備：光ファイバーケーブル敷設工事）

工種		撮影箇所及び内容	撮影頻度	摘要
1	光ファイバーケーブル敷設	<ul style="list-style-type: none"> 光ファイバーケーブルの数量等の確認状況。 光ファイバーケーブルの保管状況（屋内、横積しない、ケーブル末端の密封。） 光ファイバーケーブル敷設作業状況（ケーブルが捻れないよう注意）。 光ファイバーケーブルの接続状況（融着接続器、ケーブル余長、キック等）。	施工前後と施工中を必ず撮影する。	数量を明示
2	光ファイバーケーブル敷設完成	<ul style="list-style-type: none"> 光ファイバーケーブル敷設完成状況 	完成後	

表-15 写真撮影箇所一覧表（電気設備：自由揚床工、防塵塗装工）

工種		撮影箇所及び内容	撮影頻度	摘要
1	自由揚床工 （電気室、制御室）	<ul style="list-style-type: none"> 施工前の状況。 自由揚床工用施工資材数量確認状況（アルミニウム合金ダイカスト JIS-H5302-90-ADC/2 又は同等品以上）。 床レベルの確認状況（出入口レベルを実測し基準点とする）。 自由揚床施工状況（支持脚の高さ 300mm 標準、帯電防止タイル張り、耐震金具）。 直接壁と取り合う場合の支持金具、アンカーボルト等の取付状況 自由揚床のレベル測定状況（トランシットレベル計により測定、測定記録）。 	施工前後と施工中を必ず撮影する。	数量を明示 床レベルを明示
2	防塵塗装工 （電気室、制御室）	<ul style="list-style-type: none"> 施工前の状況。 清掃状況（油分、ゴミ、ホコリ、泥等を丁寧に清掃、よく乾燥させる）。 防塵塗料の数量確認状況。 床面の処理状況（亀裂等の補修[パテ]）。 塗装（下地処理[プライマー]、中塗り、上塗り計3回）。 膜厚検査状況。（膜厚測定） 	施工前後と施工中を必ず撮影する。 工程毎 測定時	数量を明示 各工程の内容を明示
3	完成	<ul style="list-style-type: none"> 各工種毎の完成状況。 	完成後	

表-16 写真撮影箇所一覧表（電気設備：延焼防止工）

工種		撮影箇所及び内容	撮影頻度	摘要
1	延焼防止工	<ul style="list-style-type: none"> 施工前の状況。 延焼防止資材の確認状況 延焼防止作業状況 	施工前後と施工中を必ず撮影する。	数量を明示
2	完成	<ul style="list-style-type: none"> 延焼防止工完成状況 	完成後	

表－17 写真撮影箇所一覧表（電気設備：接地工）

工種		撮影箇所及び内容	撮影頻度	摘要
1	接地工	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施工前の状況。 ・ 接地資材（接地極）の確認状況 ・ 接地極、接地線の掘削深さの確認状況 ・ 接地極、接地線の据付作業状況の確認 ・ 埋設標柱の内容確認状況（接地極の埋設位置、深さ、接地種別、接地抵抗値埋設年月日） ・ その他（避雷針接地、通信用接地の場合は、単独で接地する） 	施工前後と施工中を必ず撮影する。	数量を明示 レベルを明示
2	完成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 接地工完成状況 	完成後	

表－18 写真撮影箇所一覧表（電気設備：計装設備工事）

工種		撮影箇所及び内容	撮影頻度	摘要
1	計装設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施工前の状況。 <p><変換器></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資材（変換器、アンカー等）の確認状況 ・ スタンド形の場合は、基礎部の（掘削、鉄筋、型枠）等の確認状況 ・ 壁掛け形の場合は、壁面へのアンカー施工作業確認状況 ・ 変換器の据付作業状況 <p><水位計></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資材（変換器、検出器、アンカー等）の確認状況 ・ 圧力式水位計の場合は、基礎部の（アンカーボルト、支持金物、根巻き）等の確認状況 ・ 投込式水位計の場合は、基礎部の（アンカーボルト、支持金物、根巻き）等の確認状況）及び防波管（アンカーボルト、支持金物、吊り上げ用ウインチ、ワイヤー、防臭対策）等の確認状況 ・ 水位計の据付作業状況 <p><温度計></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資材（温度計、アンカー、保護管等）の確認状況 ・ 温度計の据付作業状況 	施工前後と施工中を必ず撮影する。	数量を明示 基礎寸法及び変換器最上部レベルを明示
2	完成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 完成状況 	完成後	

表－19 写真撮影箇所一覧表（電気設備：制御設備工事）

工種		撮影箇所及び内容	撮影頻度	摘要
1	制御設備 (小型シーケンサを含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施工前の状況。 ・ 盤の据付状況の写真（本体、PIOの盤等の写真） ・ ソフトの入力作業、調整作業の写真（既設盤機能追加作業含む） ・ ソフトのテスト作業の写真（既設盤機能追加作業含む） 	施工前後と施工中を必ず撮影する。 作業中を必ず撮影する。	

表－２０ 写真撮影箇所一覧表（電気設備：中央監視制御設備工事）

工種	撮影箇所及び内容	撮影頻度	摘要
1 中央監視制御設備等設備（周辺装置含む）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施工前の状況。 ・ 盤の据付状況の写真（本体、周辺装置の写真）中を必ず撮影 ・ ソフトの入力作業、調整作業の写真（既設盤機能追加作業含む） ・ ソフトのテスト作業の写真（既設盤機能追加作業含む） 	施工前後と施工中を必ず撮影する。作業中を必ず撮影する。	

表－２１ 写真撮影箇所一覧表（電気設備：試運転工）

工種	撮影箇所及び内容	撮影頻度	摘要
1 試運転	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施工前の状況。 ・ 調整会議状況 <試運転工程表作成> ・ 試運転工程表の確認状況 ・ 電気・機械設備工事の据付完了確認 <機器単体調整・試験> ・ 保護装置の動作チェック・設定値の確認・保護継電器試験（リレー試験）等の作業状況及び確認状況 ・ タイマ・補助リレー・その他制御機器の動作確認・設定・試験等の作業状況及び確認状況 ・ 計装機器の単独動作試験・確認（零調整・スパン調整）の作業及び確認状況 <組合せ試験> ・ 各測定器の動作試験状況 ・ 接地抵抗測定の作業状況及び確認状況 ・ 絶縁抵抗測定の作業状況及び確認状況 ・ 絶縁耐力試験の作業状況及び確認状況 ・ 無負荷シーケンス試験（機則モード）作業状況及び確認状況 ・ 無負荷シーケンス試験（常用モード）作業状況及び確認状況 ・ M単・実負荷シーケンス試験（機則モード）の作業状況及び確認状況 ・ 実負荷シーケンス試験（常用モード）の作業状況及び確認状況 <総合試運転> ・ 総合試運転実施要領書の確認状況 ・ 総合試運転の作業状況及び確認状況 <自主検査と使用前検査> ・ 当該施設の電気主任・ボイラータービン主任技術者立会による検査状況 ・ 検査結果の記録の確認状況 <使用前安全管理審査> ・ 「個別安全管理審査」とし、法定自主検査が適切に実施されているか否かを審査する審査状況 	<p>施工前 適時</p> <p>試験中</p> <p>試験中</p> <p>試験中</p> <p>検査中</p> <p>審査中</p>	試験内容を明示

表－２２ 写真撮影箇所一覧表（電気設備：照明設備工事）

工種		撮影箇所及び内容	撮影頻度	摘要
1	照明設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施工前の状況。 ・ 照明器具等の数量確認状況 <電灯照明> <ul style="list-style-type: none"> ・ 足場の設置状況 ・ 軽量形鋼等の据付状況 ・ 照明器具の据付作業状況及び据付後の状況 <外灯照明設備> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外灯用基礎レベルの確認状況（トランシットレベル計等） ・ 基礎の掘削、鉄筋工、型枠工、コンクリート打設等の作業状況 ・ 基礎ボルトの据付状況 ・ 外灯ポールの据付作業状況 ・ 接地埋設作業状況 	施工前後と施工中を必ず撮影する。	数量を明示 レベルを明示
2	完成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電灯照明設備、外灯照明設備完成状況 	完成後	

表－２３ 写真撮影箇所一覧表（電気設備：空調設備工事）

工種		撮影箇所及び内容	撮影頻度	摘要
1	空調設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施工前の状況。 ・ 空調機器及び資材等の数量確認状況 ・ 冷媒配管の施工（配管施工、保温施工）状況 ・ 空調ダクトの施工（ダクトの設置、ダクトサポート等）状況 ・ 室内機及び室外機の据付作業状況及び据付後の状況 ・ 室内機及び室外機基礎施工状況 ・ 運転試験状況 	施工前後と施工中を必ず撮影する。	数量を明示
2	完成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空調設備完成状況 	完成後	

表－２４ 写真撮影箇所一覧表（電気設備：間仕切工）

工種		撮影箇所及び内容	撮影頻度	摘要
1	間仕切工	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施工前の状況。 ・ 間仕切り資材等の数量確認状況 ・ 間仕切り施工状況 ・ 自動火災報知設備（感知器）の作業状況及び設置状況 ・ 防火ダンパー等の据付作業状況及び設置後の状況 	施工前後と施工中を必ず撮影する。	数量を明示
2	完成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 間仕切り完成状況 	完成後	

表－２５ 写真撮影箇所一覧表（電気設備：貫通はつり工）

工種		撮影箇所及び内容	撮影頻度	摘要
1	墨出し工	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体基準点・線（ベンチマーク）によりレベルを確認する。墨出し作業中及び墨出し完成後の状況撮影をする。 	施工前後と施工中を必ず撮影する。	レベルを明示する。
2	貫通はつり工	<ul style="list-style-type: none"> ・ 貫通場所の位置及び貫通口径が確認できるようにレベルや口径を明示し撮影。 ・ 貫通による壁、梁、床に支障があるか確認し、支障がある場合には、補助筋等の施工を行い状況を撮影。 ・ 鉄筋溶接等を実施した場合は、詳細に撮影。 ・ はつり箇所の補修状況を撮影。 	適時	貫通寸法を明示する。 寸法等を確認する場合は、大きく撮影する。

4 写真の整理
4-1 工事写真表紙

工 事 写 真 (の)

工事番号 _____

工 事 名 _____

工事場所 _____

工 期 自 令和 年 月 日
 至 令和 年 月 日

発 注 者 横浜市下水道河川局

施 工 者 〇〇〇〇〇〇株式会社

4-2 目次

完 成 写 真 目 次

(M設備例：機器据付工事、工種別に整理する。) (E設備例：電気据付工事、工種別に整理する。)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 施工前・完成後 | 1 施工前・完成後 |
| 2 墨出し工 | 2 工事材料検査 |
| 3 基礎はつり工 | 3 架台据付工 |
| 4 床鉄筋出しのはつり工 | 4 搬入据付工 |
| 5 基礎鉄筋工 | 5 ケーブルラック工 |
| 6 型枠工 | 6 電線管工 |
| 7 コンクリート打設工 | 7 ケーブル布設工 |
| 8 養生 | 8 ケーブル端末処理接続工 |
| 9 型枠取外し工 | 9 接地工 |
| 10 基礎表面仕上工 | 10 埋設工 |
| 11 機器搬入工 | 11 既設盤機能追加工 |
| 12 機器設置工 | 12 自由揚床工 |
| 13 機器芯出工 | 13 基礎工 |
| 14 機器据付工 | 14 切替工 |
| 15 試験運転調整工 | 15 撤去工 |
| 16 施工完成 | 16 防火区画処理補修工 |
| 17 コンクリート試験 | 17 安全・品質・環境 |
| 18 撤去廃材の処分 | 18 撤去廃材の処分 |
| 19 残土運搬追跡調査 | 19 残土運搬追跡調査 |
| 20 安全訓練・安全会議 | 20 安全訓練・安全会議 |

4-3 各工種別

基礎工

(接着系 アンカーの施工)

まめ図

(まめ図)

- ・ まめ図に朱書きでマーキング
(アンカーボルト)

資材数量の確認

(写真)

- ・ ボルトの数量
- ・ カプセルの数量

ドリルによる穿孔

(写真)

- ・ ドリルに穿孔深さを示す

穿孔穴の清掃

(写真)

- ・ 穿孔深さを確認

カプセルの挿入

(写真)

- ・ カプセルが確実に挿入されいるか確認

ボルト埋込み

(写真)

- ・ ドリルで確実に埋め込む
- ・ 樹脂が漏れ出すのを確認

硬化養生

(写真)

- ・ 硬化するまでアンカーボルトを動かさない

取付 (完了)

(写真)

- ・ 取付けは、トルクレンチにて締め付ける

4-4 試験（コンクリート試験）

コンクリート試験

試験資料の採取

(写真)

- ・ 試験資料を採取

試験資料（7日目）

(写真)

- ・ 採取後7日目の試験資料にて試験

試験資料（28日目）

(写真)

- ・ 採取後28日目の試験資料にて試験

検査場所（試験場）

(写真)

- ・ 検査場所の写真

4-5 安全訓練・安全会議

○月○日安全会議

(写真)

- ・ ○月○日安全会議状況

○月○日安全訓練

(写真)

- ・ 安全訓練

○月○日安全会議

(写真)

- ・ ○月○日安全会議状況

○月○日安全会議

(写真)

- ・ ○月○日安全会議状況

5-1 出来形部分検査対象品目の写真撮影（製品検査を実施しない場合）

表-26 写真撮影箇所一覧表（機械・電気設備用機器・材料等の写真撮影）

項目		撮影箇所及び内容	撮影頻度	摘要
1	撮影看板	<ul style="list-style-type: none"> 写真撮影の内容を表示する。 (1) 工事名 (2) 検査内容又は工程 (3) 出来形対象品目の名称 (4) 数量 (5) 検査員（請負業者又は製作者） 		機器名称は、設計書記載機器名称
2	機器等の製作	<ul style="list-style-type: none"> 機器等の製作状況を撮影 	機器・材料ごとに適時	機器ごとに製作内容を明示する。
3	外観・寸法検査	<ul style="list-style-type: none"> 出来形対象品目の外観、寸法検査状況 	機器・材料ごとに適時	機器ごとに検査内容を明示する。
4	員数検査	<ul style="list-style-type: none"> 出来形対象品目の員数検査状況 検査品目以外のものは撮影範囲に入れない。（対象外品にシート等を掛けて区別させる。 複数台の機器等は、複数台の数量が確認できる用撮影を行う。 付属品類が確認できるように撮影。 	機器・材料ごとに適時	検査内容及び数量を明示する。 注意：1組で発注している場合は、数面あっても一括して撮影する。
5	機器内部検査	<ul style="list-style-type: none"> 出来形対象品目の内部状況 <例> <ul style="list-style-type: none"> 盤を開けた状態で内部を撮影する。 ポンプを開放し内部を撮影する。 	機器・材料ごとに適時	内部まで完成していることを確認する。
6	検査（試験）	<ul style="list-style-type: none"> 検査方案どおりに、検査を実施していることを確認する。 各試験工程ごとに撮影する。 <例> <ul style="list-style-type: none"> 主ポンプの性能試験 シーケンス試験 	全体的に撮影	検査内容を明示する。
7	機器銘板	機器については、機器銘板を写真撮影する。	全ての機器	内容を明示する。
8	出来形対象品目（機器、材料）	<ul style="list-style-type: none"> 出来形対象品目の全景写真撮影 一枚の写真では不明確になるおそれがある場合は、「部分写真」＋「全体写真」で表現する。 	機器・材料ごとに適時	内容を明示する。

<注意事項>

- 1 全ての写真に検査員（請負業者又は製作者）を必ず1人以上入れて撮影する。
- 2 機器等の製作については、検査員が確認できるように写真を整理して置くこと。

5-2 出来形部分検査対象品目（現場施工）の写真撮影

表-27 写真撮影箇所一覧表（機械・電気設備用の現場施工写真撮影）

項目	撮影箇所及び内容	撮影頻度	摘要
1 撮影看板	<ul style="list-style-type: none"> 写真撮影の内容を表示する。 (1) 工事名 (2) 検査内容又は工程 (3) 出来形対象品目の名称 (4) 数量 (5) 検査員又は監督員 		機器名称等は、設計書記載機器名称
2 現場施工	<ul style="list-style-type: none"> 現場施工に係わる写真撮影は、「現場施工写真撮影基準（下水道機械・電気設備用）」による。 	現場施工写真撮影基準による	
3 外観・寸法検査	<ul style="list-style-type: none"> 出来形対象品目の外観、寸法検査状況 	機器・材料ごとに適時	機器ごとに検査内容を明示する。
4 員数検査	<ul style="list-style-type: none"> 出来形対象品目の員数検査状況 検査品目以外のもものは撮影範囲に入れない。（対象外品にシート等を掛けて区別させる。 複数台の機器等は、複数台の数量が確認できる用撮影を行う。 付属品類が確認できるように撮影。 	機器・材料ごとに適時	検査内容及び数量を明示する。 注意：1組で発注している場合は、数面あっても一括して撮影する。
5 機器内部検査	<ul style="list-style-type: none"> 出来形対象品目の内部状況 <例> <ul style="list-style-type: none"> 盤を開けた状態で内部を撮影する。 ポンプを開放し内部を撮影する。 	機器・材料ごとに適時	内部まで完成していることを確認する。
6 検査（試験）	<ul style="list-style-type: none"> 検査方案どおりに、検査を実施していることを確認する。 各試験工程ごとに撮影する。 <例> <ul style="list-style-type: none"> 主ポンプの単体試験 シーケンス試験 	全体的に撮影	検査内容を明示する。
7 機器銘板	機器については、機器銘板を写真撮影する。	全ての機器	内容を明示する。
8 出来形対象品目（機器、材料）	<ul style="list-style-type: none"> 出来形対象品目の全景写真撮影 一枚の写真では不明確になるおそれがある場合は、「部分写真」＋「全体写真」で表現する。 	機器・材料ごとに適時	内容を明示する。

<注意事項>

- 1 全ての写真に検査員又は監督員を必ず1人以上入れて撮影する。

6-1 製品検査写真撮影

表-28 写真撮影箇所一覧表（機械・電気設備用機器・材料等の写真撮影）

項目	撮影箇所及び内容	撮影頻度	摘要
1	撮影看板		機器名称は、製品検査願書と同様か確認する。 (設計書記載機器名称)
2	機器等の製作	機器・材料ごとに適時	機器ごとに製作内容を明示する。
3	外観・寸法検査	機器・材料ごとに適時	機器ごとに検査内容を明示する。
4	員数検査	機器・材料ごとに適時	検査内容及び数量を明示する。 注意：1組で発注している場合は、数面あっても一括して撮影する。
5	機器内部検査	機器・材料ごとに適時	内部まで完成していることを確認する。
6	検査（試験）	全体的に撮影	検査内容を明示する。
7	機器銘板	全ての機器	内容を明示する。
8	製品検査品目（機器、材料）	機器・材料ごとに適時	内容を明示する。
9	打ち合わせ及び書類検査、講評	適時	内容を明示する。

<注意事項>

- 1 全ての写真に検査員を必ず1人以上入れて撮影する。
- 2 機器等の製作については、検査員が確認できるように写真を整理して置くこと。

7 出来形部分検査及び製品検査の写真整理

7-1 工事写真表紙

工 事 写 真 (の)

工事番号 _____

工 事 名 _____

工事場所 _____

工 期 自 令和 年 月 日

至 令和 年 月 日

発 注 者 横浜市下水道河川局

施 工 者 〇〇〇〇〇〇株式会社

7-2 目次

出来形部分検査写真目次

(M設備例：出来形対象品目[工場製作])

- 1 機器等の製作写真
- 2 外観・寸法検査
- 3 員数検査
- 4 機器内部検査
- 5 各試験（検査）の状況写真
- 6 機器銘板の写真
- 7 出来形対象品の全景写真（完成）

(E設備例：出来形対象品目[工場製作])

- 1 機器等の製作写真
- 2 外観・寸法検査
- 3 員数検査
- 4 機器内部検査
- 5 各試験（検査）の状況写真
- 6 機器銘板の写真
- 7 出来形対象品の全景写真（完成）

(M設備例：出来形対象品目[現場施工])

- 1 現場施工の写真
- 2 外観・寸法検査
- 3 員数検査
- 4 機器内部検査
- 5 各試験（検査）の状況写真
- 6 機器銘板の写真
- 7 出来形対象品の全景写真（完成）

(E設備例：出来形対象品目[現場施工])

- 1 現場施工の写真
- 2 外観・寸法検査
- 3 員数検査
- 4 機器内部検査
- 5 各試験（検査）の状況写真
- 6 機器銘板の写真
- 7 出来形対象品の全景写真（完成）

(M設備例：出来形対象品目[製品検査])

- 1 機器等の製作写真
- 2 外観・寸法検査
- 3 員数検査
- 4 機器内部検査
- 5 各試験（検査）の状況写真
- 6 機器銘板の写真
- 7 書類検査等の写真
- 8 製品検査品目の全景写真（完成）

(E設備例：出来形対象品目[製品検査])

- 1 機器等の製作写真
- 2 外観・寸法検査
- 3 員数検査
- 4 機器内部検査
- 5 各試験（検査）の状況写真
- 6 機器銘板の写真
- 7 書類検査等の写真
- 8 製品検査品目の全景写真（完成）

7-3 出来形対象[工場製作]品目ごとに整理

出来形対象機器

(機器名称：)

まめ図

(まめ図)

- ・ まめ図に朱書きでマーキング
(出来形対象機器)

機器等の製作

(写真)

- ・ 機器等の製作状況写真
- ・ 機器ごとに撮影

外観・寸法検査

(写真)

- ・ 外観・寸法検査

員数検査

(写真)

- ・ 員数検査

機器内部検査

(写真)

- ・ 機器内部の検査状況

各検査(試験)

(写真)

- ・ 検査(試験)状況
- ・ 各工程ごとに撮影

機器銘板

(写真)

- ・ 機器銘板を撮影

出来形対象機器等の全景(完成)

(写真)

- ・ 機器等の全景
- ・ 一枚の写真で不明確な場合は、部分写真を撮影

7-4 出来形対象[現場施工]品目ごとに整理

出来形対象機器

(機器名称：)

まめ図

(まめ図)

- ・ まめ図に朱書きでマーキング
(出来形対象機器)

現場施工

(写真)

- ・ 機器等の現場施工状況
- ・ 機器ごとに撮影
- ・ 現場施工写真撮影基準による。

外観・寸法検査

(写真)

- ・ 外観・寸法検査

員数検査

(写真)

- ・ 員数検査

機器内部検査

(写真)

- ・ 機器内部の検査状況

各検査(試験)

(写真)

- ・ 検査(試験)状況
- ・ 各工程ごとに撮影

機器銘板

(写真)

- ・ 機器銘板を撮影

出来形対象機器等の全景(完成)

(写真)

- ・ 機器等の全景
- ・ 一枚の写真で不明確な場合は、部分写真を撮影

7-5 出来形対象[製品検査]品目ごとに整理

製品検査対象機器

(機器名称：)

まめ図

(まめ図)

- ・ まめ図に朱書きでマーキング
(製品検査対象機器)

機器等の製作

(写真)

- ・ 機器等の製作状況写真
- ・ 機器ごとに撮影

外観・寸法検査

(写真)

- ・ 外観・寸法検査

員数検査

(写真)

- ・ 員数検査

機器内部検査

(写真)

- ・ 機器内部の検査状況

各検査(試験)

(写真)

- ・ 検査(試験)状況
- ・ 各工程ごとに撮影

機器銘板

(写真)

- ・ 機器銘板を撮影

出来形対象機器等の全景(完成)

(写真)

- ・ 機器等の全景
- ・ 一枚の写真で不明確な場合は、部分写真を撮影